

図書館マーカーリー新聞



令和4年度
号外vol.9

2023年2月発行
若松商業高等学校図書館



2月のディスプレイ

入試休業中や春休みに 本を読んでみよう!



読む時間は自分で作るしかない!

今年度もあと残りわずかになりました。

皆さん、勉強や部活で忙しい中「読書」の時間を作ることはできましたか? 「朝の読書」が無くなり、自分で意識的に本を読む時間を作らないといけなくなりました。そのせいか若商図書館を利用する人は昨年度より減少しています。

学年末考査が終わると、入試休業期間や春休みがあります。

それに合わせて2月27日(月)からは冊数無制限で本の貸出を行います。

返却日は4月12日(水)です。

気になる本を読んでみましょう!



図書館利用多読賞 が決定しました。

今年度より皆さんにより一層本に親んでもらうために、**若商図書館で本をたくさん借りた人を表彰することになりました。**

50冊以上借りた人の中で各学年の上位の人が対象です。

令和4年度は、3年生2名が受賞します。残念ながら、1・2年生は該当者なしとなりました。

受賞者には賞状と副賞を進呈します。



若商図書館の貸出ランキング

(令和4年4月～1月) 教職員の貸出を含む

1	腹を割ったら血が出るだけさ(住野よる 著)	6回
2	その本は(又吉直樹・ヨシタケシンスケ 著)	5回
	掏えば手には(瀬尾まいこ 著)	
	早朝始発の殺風景(青崎有吾 著)	
	小説すずめの戸締まり(新海誠 著)	
	夜が明ける(西加奈子 著)	
	硝子の塔の殺人(知念実希人 著)	
	オーバーロード 2(丸山くがね 著)	
	アスリートのためのスポーツ栄養学(柳沢香絵 著)	

好きな作家の上位にあげられる「住野よる」の最新作が貸出1位になりました。他人から見られた自分を意識して行動する若者をリアルに表現した作品です。2位には同数で8作品が並んでいます。本屋大賞ノミネート作品や映像化された本が上位になりました。

若商図書館には、これ以外にもたくさん話題作があります。

図書館は遠いかもしれませんが、時間を作って図書館の本棚を眺めてみてください。あなたに訴えかける本があるはずですよ。